

令和4年度「非違行為防止研修」実施計画書及び実施報告書

※白黒反転しているセルは報告段階で記入。回数、月名等は数値のみ半角で記入。

郡市名	北安	市町村名	小谷村	学校名	小谷小学校	校長名	
学校種(小:1,中:2,特支:3,義務:4)		1	記入者職名	教頭	記入者氏名		
電話番号	0261-82-3522		メールアドレス		otaries@otari.ed.jp		
非違行為防止委員人数	5	非違行為防止委員会主任職名	教頭	非違行為防止委員会第三者委員役職名	PTA会長		
非違行為防止委員会実施予定回数	3	非違行為防止委員会の実施回数	3	非違行為防止委員会実施月	4,7,11		
非違行為防止マニュアル・校内ルール点検改善予定定期限月	3	非違行為防止マニュアル・校内ルール点検改善月	3	1人の教職員当たりの校長面談予定回数	3		
1人の教職員あたりの校長面談実施回数	3	1回の校長面談の平均実施時間(分)	20	校長面談実施月	5,10,2		
相談窓口の利用促進にかかわる工夫	学校要覧、学校便り等での紹介、校内掲示板への表示					相談窓口利用実績	7
非違行為防止研修内容・校内ルールの公表方法	ホームページ掲載	公表予定回数	4	公表回数	4	公表実施月	5,9,12,3

○本年度の非違行為防止に関わる目標

目標	自分の家族や児童を悲しませないために、教職員が教育公務員としての自覚と責任をもって、社会規範に反する行為を絶対に行わないようにする。 一人に負担を負わせることなく、教職員が互いに支え合い、信頼し合い、助け合える温かい関係づくりを築く。
----	--

○非違行為防止研修の実実施計画と実施報告

研修の回数(下記に回数を入れてください)

実施月	非違行為防止研修実施計画	実施報告(教職員の参加の様子や反応、感想など)	研修の回数(下記に回数を入れてください)							
			講演・講習	マニュアル等作成	チェックリスト作成・実施	校内体制整備	資料等読み合わせ	協議・体験・演習	その他	
4月	・学校長を講師として、交通事故防止や交通事故に遭った時の対応を学ぶと共に、全職員が家族に向けた手紙形式で非違行為防止の誓いを記述する。	・学校長の事例を用いた話から、交通事故等を起こした際の行動や対応について学ぶと共に、防止への自覚を持った。また、家族にあてて、非違行為防止の誓いを心を込めて記入した。			1			1	1	
5月	・情報媒体、個人情報の紛失の事例をもとに、小集団で防止に向けた管理体制や個人が守るべきことを話し合い確認する。	・情報媒体、個人情報の紛失防止マニュアルや校内管理体制について4月の運用を振り返り、チェックシートを用いて各自が管理方法を再確認した。また、校内の管理が円滑にできるか係を中心に見直した。			1	1	1	1		
6月	・職員会議での学校長の指導から、非違行為防止6策を再確認し、児童や保護者に信頼される教職員としてのあり方について連学年グループで話し合う。	・学校長の話から非違行為防止6策への理解を深め、非違行為を許さない同僚性を育む大切さを再確認した。また、連学年グループで児童や保護者に信頼される言動や対応について話し合った。	1				1	1		
7月	・「非違行為の根絶に向けて」事例(わいせつな行為)や、「わいせつな行為に係る検証報告書」から、問題行動が起きるプロセス(4つの壁)を考え合い、校内ルールを再確認する。	・「わいせつな行為に係る検証報告書」や(わいせつな行為)の事例から、問題行動が起きるプロセス(4つの壁)とその要因を具体的に考えた。自校にあるわいせつ行為防止の校内ルールを再確認した。			1			1	1	
8月	・外部講師を招いた職員のICT研修を通して、共同編集や情報発信における個人情報保護情報管理を学ぶ。誓いを再確認する。	・講師から、プログラミング的思考を取り入れた授業づくりと、教材活用時の個人情報保護や管理、著作権違反等の注意点を学んだ。また、誓いを再確認した。	1				1	1	1	
9月	・パワーハラスメントの判断基準3要素や6つの行為類型、アンガーマネジメントを見直し、体罰根絶のためのセルフチェックシートで各自が自分の言動を振り返る。	・パワーハラスメントの判断基準3要素や6つの行為類型、アンガーマネジメントについて、資料から学び、体罰根絶のためのセルフチェックシートで各自が自分の言動を振り返った。			1			1		
10月	・チェックシートを用いて飲酒運転、スピード違反の基礎的知識を再確認した後、「非違行為の根絶に向けて」の事例から要因について学び、防止策を考え合う。	・児童の1人1台のタブレットの管理方法の課題をきっかけとして、情報媒体、個人情報の紛失防止マニュアルや校内管理体制を見直すと共に、全職員で管理方法を再確認した。			1		1		1	
11月	・人権教育旬間の開始に合わせた学校長の指導や信用失墜行為の事例をもとに、自分の人権意識や言動を振り返り、児童や保護者への対応を学び合う。	・学校長から、人権学習のねらいと自分事として考える大切さについての講話を聞き、全校縦割り班による対話を通して、児童と教職員がねらいと自分の言動について真剣に考え合った。	1						1	
12月	・学校評価の結果を共有した後、小グループで自分の日頃の授業やよりよい授業のあり方、児童への関わり方について意見交換し意思統一を行う。	・資料とチェックシートを用いて飲酒運転、スピード違反の基礎的知識を再確認した後、「非違行為の根絶に向けて」の事例から要因について学び、小グループで防止策を考え合った。			1			1	1	
1月	・小グループに分かれて、日頃から意識している非違行為防止の取り組みについて、対話を通してそれらを防止する具体策を学び合う。誓いを再確認する。	・学校評価の結果や記述から、児童主体の授業のあり方や、児童に寄り添った指導・支援について連学年会で振り返り、今後の課題と指導の方向性を協議した。						1	1	
2月	・情報媒体、個人情報の紛失防止マニュアルや校内管理体制を見直すと共に、チェックシートを用いて各自が管理方法を再確認する。	・学校長の事例を用いた話から、わいせつ行為と生活実態やストレス等の関係性の大きさを実感すると共に、改めて支え合い助け合える職場づくりの重大さを確認し合った。	1					1		
3月	・検証報告書をもとに連学年のグループに分かれて非違行為防止マニュアルの見直しについて検討し改善を行う。									
合計			31回	4	2	5	2	8	8	2

○実施した研修に対する非違行為防止委員(第三者の委員)の感想

誰もが非違行為の当事者になりえます。迷ったときや感情的な行動になりそうなときに一歩立ち止まって考える時間が必要です。先生方、いつもお忙しい中と察しますが、どうか焦らずにお願いします。また、先生方の長時間勤務など職場環境改善の面からもサポートをお願いします。

※適宜行追加してください。記入できない場合などは、資料を添付してください。